

# 令和3年度 第3回上越市スポーツ推進審議会書面会議

## 次 第

令和4年3月18日

### 1 議 題

上越市第2次総合教育プラン後期計画に基づく令和3年度実績（見込み）について

- ・ 施策 7-1 生涯スポーツ活動の充実 …資料 1
- ・ 施策 7-2 競技スポーツの発展 …資料 2
- ・ 施策 7-3 スポーツ環境の整備 …資料 3

基本施策7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

施策7-1 生涯スポーツ活動の充実

□ 目標

スポーツ活動に対する市民への意識啓発に取り組むとともに、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等と連携して地域ぐるみのスポーツ活動の推進を図ります。

□ 成果指標

評価内容	令和3年度	実績見込み
スポーツイベントの参加率 ※参加率＝市、市スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ等が主催する大会・教室等の延べ参加者数/人口 <現状値：R2・39.5%>	100%以上	32.8%
市内の総合型地域スポーツクラブ、市スポーツ協会に所属する会員数 <現状値：R2・23,166人>	26,500人以上	20,819人

□ 評価

- 市内におけるスポーツイベントの参加率は、新型コロナウイルス感染症の影響により、高田城ロードレースやファミリー綱引大会など、多くの人々が参加するイベントが中止となり、成果指標に掲げた数値目標を達成することが出来なかったものの、少人数で行う教室や講座などのスポーツ機会は回復基調にある。
- 人口減少や少子高齢化のほか、余暇活動の多様化などにより、団体の会員数の減少は顕著であり、市のイベントや広報媒体を通じて団体を周知するなど会員数を増やす取組を行ったものの、成果指標に掲げた数値目標を達成することが出来なかった。
- コロナ禍での東京オリンピック・パラリンピックの開催となったが、ドイツ体操チームの直前合宿受入等においては、感染症対策を踏まえ、選手等との接触が生じないオンラインによる練習見学や交流に取り組んだほか、小中学校におけるパラスポーツ体験の機会を提供することで、パラスポーツや共生社会に対する児童生徒の理解を深めることができた。

□ 関連事業等の実績（見込み）

(1) スポーツ活動の普及推進

① 子どもの体力づくり運動の普及

- 多くの市民に幼児期からの健康と体力づくりに取り組んでもらうため、令和2年2月に策定した「運動あそびプログラム」の普及、展開を行う。

実施内容	開催日	会場	実施回数	参加者(延べ)
親子運動あそび教室	通年	上越体操場 ジムリーナ	12回	172人
運動あそび指導者養成講習会	10月15日 11月14日 11月18日		3回	119人

② スポーツ推進委員の活動を促進

- スポーツ推進委員と連携した取組の充実

活動内容		実施回数	参加者数(延べ)
スポーツ教室	ニュースポーツ教室、体験会など	138回	2,765人
出前講座	地域での健康体操など	29回	559人
体力測定会	市民向け体力測定会	8回	151人

③ 上越体操場ジムリーナを活用したスポーツ活動の推進

- 体操器具等を活用したスポーツ教室の開催

【開催状況】

教室名	開催日時		開催回数	参加者(延べ)
スローエアロビック	毎週金曜日	午前10時30分～11時30分	16回	230人
ストレッチ体操	毎週水曜日	午後2時～3時	24回	316人
ノルディックウォーキング	毎週水・金曜日	午前9時30分～11時00分	8回	21人
J-Wellness	毎週火・木曜日	午前9時30分～11時00分	24回	193人
スラックライン	毎週水曜日	午後7時～8時30分	8回	96人
チャレンジアクロバット	毎週木曜日	午後7時～8時	8回	24人
体操あそび	毎週木曜日	午後5時30分～6時30分	4回	11人



【スローエアロビック教室】



【スラックライン教室】

④ 東京オリンピック・パラリンピック関連事業

- 国が示した手引きに基づく「ホストタウンにおける選手等受入れマニュアル」を作成し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、7月にドイツ体操チームのオリンピック直前合宿を受け入れた。
- 東京2020大会関連事業として、オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルを実施したほか、東京パラリンピック水泳に出場した上越市出身の石浦智美選手を応援するため、懸垂幕の掲出や母校での競技観戦などを実施した。
- パラリンピック柔道チームの事前合宿の受入れを契機としたドイツとのスポーツ交流を継続させるため、11月にU-18柔道チームの合宿受入れを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大による入国制限の緩和の見通しが立たないことから中止することとした。

## 上越市第2次総合教育プラン後期実施計画に基づく令和3年度実績（見込み）について

- ・児童生徒がパラスポーツを身近なものと感じ、体験を通じて障がいや共生社会への関心が高まることを目的として、市内6小中学校において日本財団パラスポーツサポートセンターが実施するパラスポーツ体験授業を実施した。

### ⑤ 全国高等学校総合体育大会の開催

- ・令和3年度全国高等学校総合体育大会において、当市が受け持つ競技種目別大会の弓道と体操競技が下記のとおり開催された。
- ・コロナ禍の中、感染症対策を講じて2年ぶりとなる大会開催が実現したが、感染症拡大防止の観点から無観客で行われた。なお、両競技種目とも新型コロナウイルス感染症の影響による出場辞退等の事案はなかった。

	弓道	体操競技
競技期間・会場	7月29日（木）～8月1日（日） 新潟県立武道館「謙信公武道館」	8月9日（月）～8月11日（水） リージョンプラザ上越
大会関係者数	選手・監督 218校 1,052人 役員・補助員等 487人 計 1,539人	選手・監督 208校 949人 役員・補助員等 670人 計 1,619人

（その他）

- ・市内・県内の多くの高校生から、大会運営補助のほか、大会周知、会場準備など「支える」立場として大会に関わっていただいた。
- ・大会開催に当たっては、観戦を希望する声は若干あったものの、無観客に理解を示していただいた。また多くの選手・保護者等から開催に対する感謝の声をいただいた。
- ・大会を通じて、練習会場を含めて当市にある施設を知っていただくよい機会となった。

### （2）スポーツ大会、団体等への支援

大会名等	交付額(千円)	交付率	備考
高田城ロードレース大会補助金	3,321	89.4%	中止（開催準備経費を支援）
新潟県駅伝競走大会補助金	481	100.0%	
ビーチバレーボール大会補助金	183	100.0%	
市民スポーツ祭補助金	589	74.9%	開催競技の縮小
上越市スポーツ協会運営費補助金	7,206	100.0%	
上越市スポーツ少年団補助金	218	100.0%	
スポーツ施設借利上料等補助金	923	100.0%	（一社）アクティブスポーツ協会
えちご・くびき野100kmマラソン交付金	2,634	100.0%	準備年に必要な経費を支援
ビーチラグビー大会補助金	0	0%	中止（コロナ）
居多まつり武道大会補助金	0	0%	中止（コロナ）

### （3）総合型地域スポーツクラブの育成・支援

- ・11月28日（日）に（公財）新潟県スポーツ協会及び上越SCネットとの共催により「スポーツ推進のための地域ミーティング」と題して総合型地域スポーツクラブ研修会を実施した。

演題	講師
第一部 休日部活動の段階的な地域移行について	西原 康行（新潟医療福祉大学教授） 志田 哲也（新潟県教育庁保健体育課副参事） 渡邊 優子（NPO法人希楽々理事長）
第二部 地域と学校の連携事業について	石野 秋広（上越地区中学校体育連盟会長） 松井 和代（NPO法人さんわスポーツクラブクラブマネージャー）

- ・総合型地域スポーツクラブ未設置区域の牧区と大島区を対象に、市主催の「いきいきスポーツ教室」を開催した（実施種目：ノルディックウォーキング）

地区	回数	参加者(延べ)
牧区	12回	177人
大島区	12回	141人



【牧区】



【大島区】

### □ 令和4年度に向けた課題

- ・地域に根差したスポーツ振興を図るため、地域住民が主体となって生涯スポーツを実践する総合型地域スポーツクラブへの指導技術の向上やクラブ間の情報共有を促す研修会を実施するほか、スポーツクラブの無い地域では、スポーツ教室の実施や地域でのスポーツ活動の担い手の育成を図る必要がある。
- ・会員数の減少などにより、各スポーツ団体の体制を維持していくことが困難になりつつあることから、上越市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブ等とともに、各スポーツ団体が組織的な連携を図り、持続可能なスポーツ活動の普及推進ができる体制の構築を促す必要がある。
- ・新しい生活様式を踏まえたスポーツ教室やイベントの実施、大会の開催を支援することで、スポーツや健康に対する意識の高揚を図りながら、市民のスポーツ活動を推進していく必要がある。
- ・東京2020大会におけるホストタウンの取組の成果を生かし、オリンピック・パラリンピアンとの交流や競技体験を通じてスポーツの振興を図るとともに、市民の共生社会への理解を深めるため、パラスポーツ体験等の継続的な実施を検討していく必要がある。
- ・東京2020大会での選手の活躍や昨今の健康志向の高まりなどからスポーツへの期待が大きくなってきていることを踏まえ、次期総合教育プランに反映すべく、当市のスポーツ行政の在り方や具体的な施策を関係機関と協議・検討していく必要がある。

## 上越市第 2 次総合教育プラン後期計画に基づく令和 3 年度実績（見込み）について

## 基本施策 7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

## 施策 7-2 競技スポーツの発展

## □ 目標

各種スポーツの競技人口を踏まえつつ、関連競技団体と連携を図りながらアスリート育成強化等に取り組み、スポーツ競技力の向上を図るとともに、2020 年東京オリンピック・パラリンピック（以下「東京オリンピック」という。）の開催の機会を捉え、関連施策と連携を図りながら、市民によるスポーツ活動の推進と競技力の向上を図ります。

## □ 成果指標

評価内容	令和 3 年度	実績見込み
中高生の北信越大会と小・中・高生の全国大会出場者数 〈現状値：R2・106 人〉	464 人以上	339 人
ジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技種目における 全国大会出場者数 〈現状値：R2・7 人〉	103 人以上	69 人

## □ 評価

- 新しい生活様式が定着する中で、中体連や高体連などが主催する北信越、全国規模の大会が徐々に開催されるようになり、当市における北信越、全国大会への出場者数は、コロナ前の水準に戻りつつある。
- 各種スポーツ競技団体は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、選手の育成強化に取り組み、徐々に再開した大会で結果を残し、全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会などの全国大会の出場につなげた。

## □ 関連事業等の実績（見込み）

## (1) スポーツ競技力の向上、アスリート育成強化の推進

## ① 年齢や学校の枠を超えた指導体制によるトップアスリートの育成

市スポーツ協会が指定するジュニアトップアスリート育成強化事業指定競技団体と新潟県が指定する地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業指定競技団体をはじめ、各種競技団体から国際大会や全国大会等で活躍できる選手の育成強化に取り組む。

- ジュニアトップアスリート育成強化事業（補助金交付額・2,448 千円）・・・ 交付率 93%

指定競技種目：体操、陸上、バレーボール、山岳、硬式野球、スキー

活動状況等：各競技 4 月から強化練習等を実施

大会実績：体操・・・北信越高等学校体育大会	8 人入賞
全国高等学校総合体育大会	12 人出場
北信越中学校総合競技大会	8 人入賞
全国中学校体育大会	4 人入賞
全日本ジュニア体操競技選手権大会	3 人入賞
山岳・・・リードユース日本選手権南砺大会	1 人出場
ボルダリングユース選手権	1 人出場
全国高等学校選抜リード選手権	1 人出場
スキー・・・全国中学校スキー大会	4 人出場（優勝者 1 人）
JOCジュニアオリンピック	3 人出場

- 地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業（県補助・600 千円）・・・ 交付率 100%

指定競技種目：空手道

活動状況等：4 月から強化練習等を実施（指定強化選手 67 人（小学性 36 人、中学生 23 人、高校生 8 人）、指導者 7 人）

大会実績：北信越高等学校空手道選手権大会	6 人出場（入賞 4 人）
全国高等学校体育大会	2 人出場
全国中学生空手道選手権大会	2 人出場
全日本少年少女空手道選手権大会	5 人出場（入賞 2 人）
小学生・中学生全国空手道選手権大会	17 人出場（入賞延べ 10 人）
北信越小中学生空手道選手権大会	13 人出場（優勝 1 名、入賞延べ 4 人）
北信越地区空手道選手権大会	15 人出場（入賞延べ 17 人）

- ジュニアスポーツクラブの育成事業（補助金交付額・1,527 千円）・・・ 交付率 100%

ジュニア層のスポーツ振興を促進するため、スポーツ教室や選手強化等を実施し底辺拡大を図る。

## ② 上越市を拠点としたスポーツアスリートの育成

上越市を拠点にして国際的、全国的に活躍できるアスリートの育成に取り組む。

- スポーツアスリート育成強化事業（補助金交付額・2,100 千円）・・・ 交付率 76%

上越市スポーツ協会を通じて、競技団体を対象にトップクラスの指導者によるクリニックを行う「優秀指導者招請指導強化事業」や全国大会出場団体を支援する「全国大会出場事業」を実施

## 上越市第2次総合教育プラン後期計画に基づく令和3年度実績（見込み）について

### ③ スポーツ活動サポート事業

小学校の課外活動、中学校の運動部活動に専門的な技術指導ができる指導者を派遣し、児童生徒の競技力の向上に取り組む。

#### 【スポーツ活動サポート事業実施状況】

	派遣予定	派遣依頼種目	実施状況
小学校	11校 132回	陸上・水泳・ダンス・スキー	11校 67回
中学校	17校 1,217回	クロスカントリースキー、新体操、ソフトテニス、卓球、軟式野球、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、陸上、剣道、ソフトボール、	17校 946回

### ④ スポーツ振興奨励金

国際大会や全国大会等に出場する本市に居住する優秀な選手等に対して奨励金を交付し、市民のスポーツに対する意識の高揚とスポーツの推進を図る。

- ・奨励金交付実績：156件



【直江津剣道スポーツ少年団】



【BMX 中井 飛馬 選手】

### ⑤ ジュニア選手指導者の指導力の向上

市スポーツ協会や各競技団体と連携し、指導者の技術力向上に取り組む。

- ・スポーツ指導者養成事業（補助金交付額・880千円）・・・ 交付率 100%  
上越市スポーツ協会加盟団体による指導者養成事業への支援、上越市スポーツ協会が実施する表彰事業を支援
- ・日本体育大学連携事業  
バレーボール、陸上競技の指導者を招致し、練習会と指導者クリニックを開催する予定とされていたが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ中止とした。

### □ 令和4年度に向けた課題

- ・ジュニア世代から体を動かす習慣や基礎的な体力を身に付けるとともに、競技力の向上を図るため、上越市スポーツ協会と連携し、各競技団体が取り組むジュニア選手のスポーツ活動を支援するほか、競技団体に年齢や学校の枠を超えた指導体制の構築を促すとともに、日本体育大学との協定を活かし、ジュニア選手の競技力の向上と指導者の指導技術の習得を図る取組を継続する必要がある。
- ・小・中学校におけるスポーツ活動の指導体制を踏まえ、各競技団体と連携し、専門的な指導技術を有する外部指導者を派遣し、スポーツ活動の推進と競技力の向上を図るため、運動部活動を支援する必要がある。
- ・学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について、国の動向や学校の実情を踏まえながら、本市において必要な仕組を市内スポーツ団体とともに検討する必要がある。

## 上越市第 2 次総合教育プラン後期計画に基づく令和 3 年度実績（見込み）について

## 基本施策 7 地域が主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

## 施策 7-3 スポーツ環境の整備

## □ 目標

スポーツ関連施設の老朽化に適切に対応するとともに、ライフステージに応じた市民ニーズを踏まえ、安全かつ快適なスポーツ環境を提供します。

## □ 成果指標

評価内容	令和 3 年度	実績見込み
体育施設の 1 施設当たりの年間延べ利用者数		
【体育館】 〈現状値：H27～R1 平均〉 24,031 人/施設	直近 5 年の平均利用者数以上	13,792 人
【野球場】 〈現状値：H27～R1 平均〉 6,947 人/施設	直近 5 年の平均利用者数以上	5,475 人
【多目的広場】 〈現状値：H27～R1 平均〉 4,897 人/施設	直近 5 年の平均利用者数以上	4,971 人
【テニスコート】 〈現状値：H27～R1 平均〉 5,222 人/施設	直近 5 年の平均利用者数以上	5,307 人

## □ 評価

- 令和元年度からの新型コロナウイルス感染症感染拡大により、スポーツ大会・イベントの自粛などの影響を受け、施設利用においても、利用者数の減少傾向が続いてきた。
- 今年度には、県独自の警戒基準となる「特別警報」を県内全域に発出したことを踏まえ、令和 3 年 9 月 3 日から 16 日の間、体育施設を休止した措置を講じたこともあり、1 施設当たりの年間延べ利用者数は、体育館△10,239 人（△42.6%）、野球場△1,472（△21.2%）と減少したものの、特別警報の解除以降は、回復し、特に屋外施設においては、多目的広場 74 人（1.5%）、テニスコート 85 人（1.6%）となった。
- 体育施設の維持管理については、老朽化が著しい上越市総合体育館及び上越勤労身体障害者体育館の大規模改修工事を実施したほか、柿崎総合体育館、頸城 B&G 海洋センターアリーナ及び中郷総合体育館の照明設備取替工事（LED 化）を実施するなど安全で快適なスポーツ環境を提供することができた。

## □ 目標を達成するための事業等

## (1) 体育施設の安全性や快適性の確保（スポーツ推進課）

施設名	実施内容	実施状況
上越市総合体育館及び上越勤労身体障害者体育館大規模改修工事	冷暖房設備の設置、照明設備の LED 化	令和 4 年 3 月完了

施設名	実施内容	実施状況
高田城址公園弓道場塗装工事	射場の場屋根の塗装工事	令和 3 年 6 月完了
上越総合運動公園テニスコート塗装修繕及びクラック改修工事	フェンスの塗装工事	令和 3 年 8 月完了
金谷山公園看板設置工事	看板の設置工事	令和 3 年 9 月完了
柿崎総合体育館照明取替工事	照明設備の LED 化工事	令和 4 年 3 月完了
頸城 B&G 海洋センターアリーナ照明設備取替工事	照明設備の LED 化工事	令和 3 年 11 月完了
中郷総合体育館照明設備取替工事	照明設備の LED 化工事	令和 4 年 3 月完了
大潟体育センタートイレ改修工事	トイレの洋式化工事	令和 4 年 2 月完了

## (2) 体育施設の指定管理の状況

施設名	管理者	期間	自主事業
上越市総合体育館、上越勤労身体障害者体育館、スポーツ公園（野球場、多目的運動広場、庭球場）、上越市藤野野球場、上越市びょうぶ谷野球場、上越市庭球コート、上越市少年野球場、上越市春日山ペタンク場、上越市高田スポーツセンター、高田公園（弓道場、陸上競技場、野球場、庭球場）、上越市今泉スポーツ広場（野球場、多目的広場）、上越総合運動公園（テニスコート）、上越市教育プラザ体育館	一般財団法人 上越スポーツ協会	5 年間  (平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで)	・体力づくり運動教室 健康体操教室 フィットネス教室 ・ストレッチ・ヨガ教室 ・ピラティス教室 ・各種スポーツ大会 ・市民スポーツ祭
上越市柿崎総合体育館、柿崎総合運動公園（野球場、グラウンド、人工芝グラウンド）、上越市柿崎屋内水泳プール	新東産業株式会社		・さわやかフィットネス教室 ・いきいき健康体操&ストレッチ教室 ・男性のための体操教室 ・トランポピクス教室 ・初心者ジョギング講座 ・ドーム杯スポレック大会 ・卓球大会 など

上越市第2次総合教育プラン後期計画に基づく令和3年度実績（見込み）について

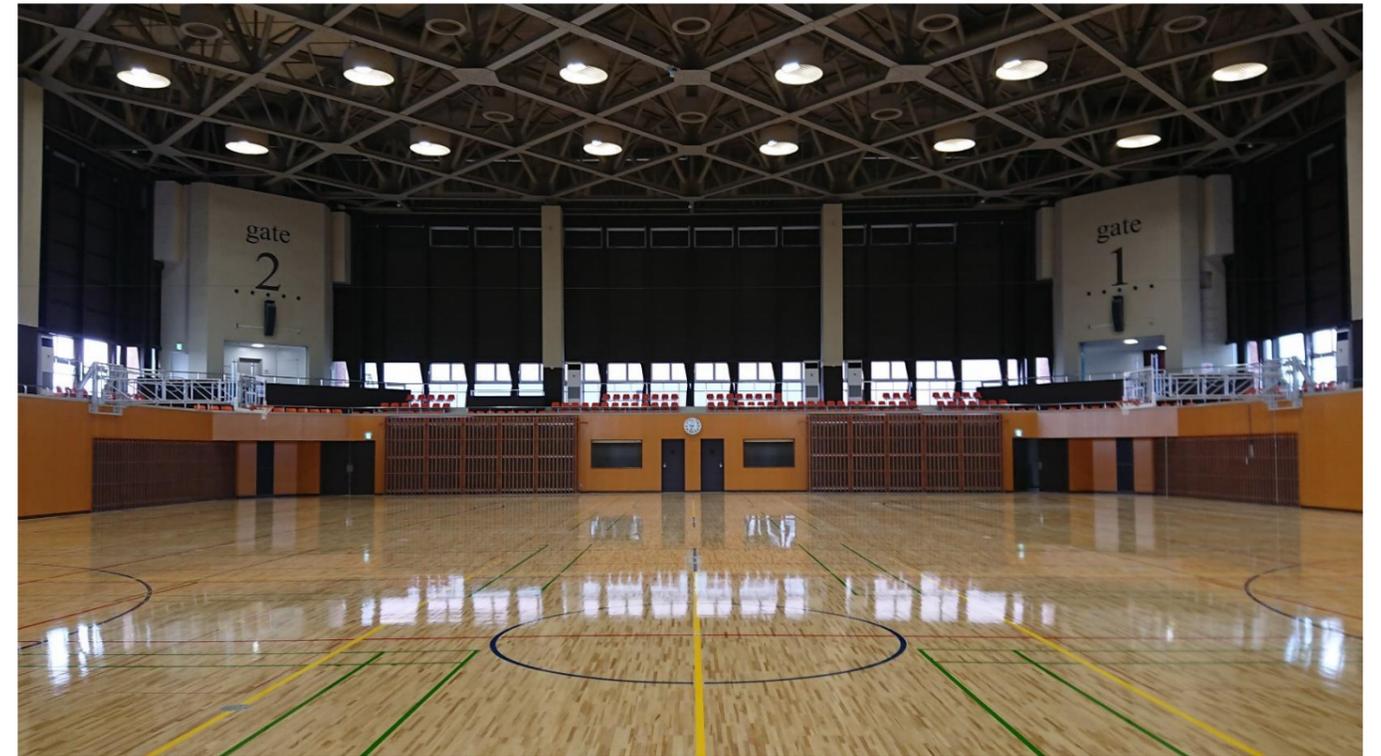
上越市立オールシーズンプール	株式会社 新潟ビルサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳教室(短期含む)</li> <li>・上越 ASP 水泳競技大会</li> <li>・親子水遊び体験教室</li> <li>・わんぱく水遊び天国</li> <li>・新春初泳ぎレクリエーション</li> <li>・一日体験教室</li> <li>・アクアピクス など</li> </ul>
----------------	------------------	--

(3) 体育施設の適正配置の方向性

施設名	施設区分	実施
浦川原運動広場	野球場、トレーニング棟	令和4年3月31日廃止
清里中学校屋外運動場	照明設備	

□ 令和4年度に向けた課題

- ・ 老朽化が進む体育施設の維持管理において、「公の施設の適正配置計画（令和2年度策定）」に基づき、現状維持とした施設について、突発的な不具合に対する修繕をはじめ、長寿命化を図るための改修及び各競技ルールの改正などを踏まえ、引き続き適正に管理していく必要がある。
- ・ また、これからの市民ニーズを的確に捉え、体育施設を整理していくとともに、廃止後の施設及び土地の有効的な利活用を検討していく必要がある。



■ 令和3年度大規模改修を実施した上越市総合体育館、上越市勤労身体障害者体育館（アリーナの冷暖房）



■ 令和3年度大規模改修を実施した上越市総合体育館、上越市勤労身体障害者体育館（外観）



■ 令和3年度大規模改修を実施した上越市総合体育館、上越市勤労身体障害者体育館（エントランス）